



SDGs～持続可能な社会を目指して～ Vol.10

問政策財政課 ☎51-6712

市では、持続可能な社会を目指してSDGsの取り組みを進めています。今号では、世界共通の17のゴール（国際目標）のうち、ゴール9の達成に向けた市の取り組みや一人一人ができることなどを紹介します。



ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう

道路や鉄道、水道、電気・ガス、情報通信網（インターネット）など、社会基盤となる施設や設備のことをインフラストラクチャー（インフラ）といいます。インフラが整備されることにより、生活が便利になるほか、交通や施設の質が上がることで、仕事の効率や生産性も向上し、経済の基盤も整っていきます。

日本では、1964年の東京オリンピック開催前後に道路や橋などが整備され、それら施設の老朽化が問題となっています。インフラは日々の生活に欠かせないため、災害に強く、災害が起きてもすぐに復旧できるような強いインフラづくりが必要となっています。

また、経済が発展していくためには、限られた資源を効率的に使うための技術革新が求められています。

ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」では、^{きょうじん}強靱なインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図ることを目指しています。

達成に向けた市の取り組み

◆デジタル化の推進

電気通信事業者との協議により、光ファイバー未整備地域の整備が完了し、各家庭・事業所で高速インターネット回線への接続が可能となっています。

その他、スマートフォンなどで公共施設の予約などができる「公共施設予約システム」や各種手続きを電子申請で行う取り組みを進めています。

【一人一人ができること】

◆「デジタル化」への理解を深めよう

最近では、暮らしに便利なアプリやツールがたくさんあります。

デジタル化に興味を持ち、仕組みを理解することで、災害時など不測の事態にも臨機応変な利用に役立てることができます。



Part10

北里大学獣医学部文化会「あしたぼの会部」です！



問北里大学獣医学部北里会執行委員会情報局 ☎23-4371



こんにちは。北里大学獣医学部文化会「あしたぼの会部」です。今回は、現代美術館や児童福祉施設の訪問、小学校での読み聞かせ、献血推進ボランティアなどを行っている私たち「あしたぼの会部」について紹介します。

私たちは人とのつながりを大切に、地域活性化を目指しボランティア活動を行っています。ボランティアと聞くと、堅苦しい活動をイメージする人もいますが、「あしたぼの会部」では、各部員がお気に入りの活動を選んで参加しています。

例えば子どもや運動が好きな部員は児童養護施設で子どもたちと遊ぶ、運動が苦手な部員は読み聞かせに参加するなど、それぞれが得意な分野で活躍したり、これまで経験したことのない活動に挑戦し、より多くの人の手助けをするなど、多様な形でボランティアに関わっています。



また、活動の一つである献血推進ボランティアでは、他大学の学生と献血の課題についてディスカッションし、献血センターの職員に伝えます。このボランティアの魅力はズバリ、ポスターや献血関連グッズなど、自分たちの意見を実際に形として目にしたときの達成感です。コロナ禍の現在でもオンライン会議で意見交換をしながら活発に活動しています。



「あしたぼの会部」では皆さまからのボランティアの依頼をお待ちしております。地域のイベントや行事などをお手伝いさせていただきますので、Twitterからお気軽に相談ください。